

いち早く低炭素社会実現に着目、省エネルギーと環境負荷低減に取り組む

【贈呈理由】幅広い用途や規模の建物におけるヒートポンプ・蓄熱システムを導入した企画・設計



日本赤十字社医療センター

株式会社久米設計は、1932年の創業以来「デザインと技術の統合」を目指した創業者・久米権九郎の精神を引き継ぎ、「建築設計・監理」とどまらず、事業のスタートから設計、竣工後の運用まで、トータルデザインソリューションを提供する組織設計事務所として成長してきた。

現在は東京本社を中心に全国7カ所に国内拠点をもち、さらにベトナムや中国にも現地法人を設立。国内のみならずア

ジア各国においても積極的にプロジェクト展開し、グローバル化をすすめている。

同社はいち早く低炭素社会実現に着目し、健康で快適な環境をより少ない消費エネルギーと環境負荷で実現する最先端の建築・環境のデザインに取り組んでいる。常に「環境」+「顧客第一主義」というスタンスに立ち、快適な環境を合理的かつ経済的に実現している。

その取り組みの中で、近年では日本赤

十字社医療センター、Z会文教町ビル、早稲田大学西早稲田キャンパス63号館、衆議院新議員会館、茨城県立友部病院、大日本印刷本社ビル(I期)など、幅広い用途や規模の建物にヒートポンプ・蓄熱システムを導入。その企画・設計により顧客から高い信頼と評価を得ている。

主な蓄熱システム導入実績

日本赤十字社医療センター 2010年
水蓄熱式空調システム 熱源機:ターボ冷凍機
1,759kW×2基(三菱重工業) 蓄熱槽:2,000m³×2基(多槽連結温度成層型冷水蓄熱槽)

Z会文教町ビル 2009年
エコ・アイス(セントラル) 熱源機:空気熱源ヒートポンプチラー 245kW(製氷時)×2台(ダイキン工業)
蓄熱槽:25.7m³×2基(スタティック)

早稲田大学西早稲田キャンパス63号館 2008年
水蓄熱式空調システム 熱源機:インバーターボ冷凍機 703kW×1基(日立アプライアンス)
蓄熱槽:900m³×1基(多槽連結温度成層型冷水蓄熱槽)